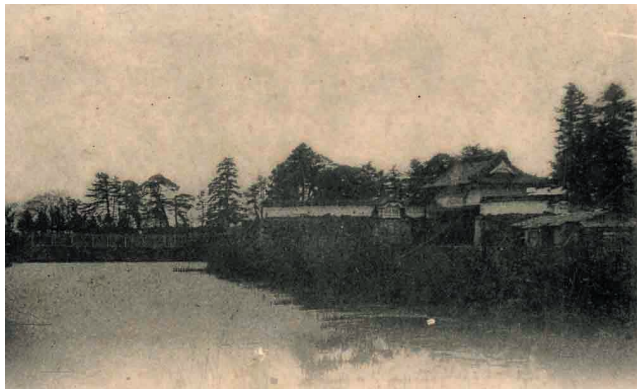


②二之丸の解体

次に二之丸を見てみましょう（P2の地図参照）。二階櫓門は、明治8年に俛焉小学校（後の総曲輪小学校）の校舎として使用されました。しかし、同16年に同校が移転すると取り壊され、これと前後して石垣も撤去されました。また、時鐘台は明治時代になってから、西町辻（現在の西町スクランブル交差点付近）に移されましたが、同16年には旧本丸石垣上に再度移されました。



二階櫓門

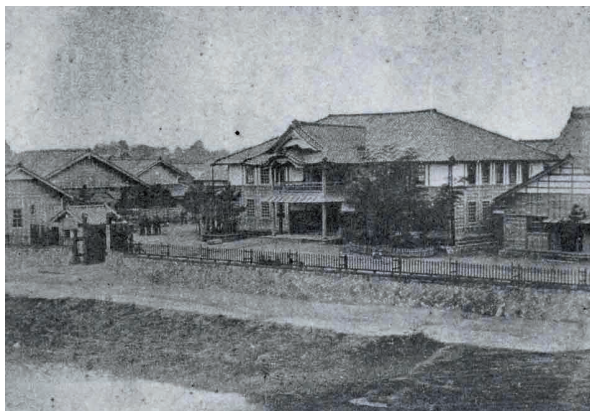
門の2階部分の広さは、意外に広くて、全体で32坪（畳64枚分）ありました。この写真は、現在の丸の内交差点付近から、国際会議場の方向を見た風景です。



時鐘台

明治32年の大火で焼失するまで、人々に時を知らせていました。現在は同じ場所に天守閣が建っています。

明治20年には西側の堀を埋め立てて、県会議事堂が新築されました。東側の堀については、同18年に堀端に新築された富山県中学校の写真に、その一部を確認することができます。しかし、これも同30年代初め頃には埋め立てられたようです。



富山県中学校

校舎前に、堀の一部が写っています。校舎は、現在の市営総曲輪駐車場付近に、北向きで建っていました。



明治20年の富山市街図（部分）です。まだ、二之丸の堀の一部が残っています。